



見えないリスクを、 目に見える安心に。

日本信号の地中レーダは、道路や各種施設の工事現場で地中の様子をとりえ、事故を未然に防ぎます。地中の見えないリスクを迅速に発見し、安心につなげる技術です。

長年にわたって安全と信頼の優れたテクノロジーを通じ、社会に貢献してきた日本信号が提供する、安心のためのソリューションです。



地中埋設物探査レーダ グランドシア GROUNDSEER GN-01

本体の各部名称



※仕様は予告なく変更になる場合があります。

KGS 株式会社 計測技術サービス

本社 〒112-0004 東京都文京区後楽1-2-8
後楽1丁目ビル8階
TEL 03-6379-0334 FAX 03-6379-0335
大阪 〒553-0003 大阪市福島区福島2-10-19-314
TEL 06-6110-5331 FAX 06-6110-5332

URL <http://www.kgs-inc.co.jp>
E-mail kgs_sales_member@kgs-inc.co.jp

日本信号株式会社

EMS 事業推進部

〒100-6513 東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビルディング 13階
TEL : 03-3217-7383 (直) FAX : 03-3217-7377

宇都宮事業所 実験サイト

〒321-8651 栃木県宇都宮市平出工業団地 11-2

e-mail: groundseer@signal.co.jp
<http://groundseer.jp/>

地中を見通す力



地中埋設物探査レーダ グランドシア GROUNDSEER

NIPPON SIGNAL
THE NIPPON SIGNAL CO., LTD.

安全と信頼を支えて 80余年。

日本信号は1928年の設立以来、鉄道信号を中心とする各分野で、都市と交通の安全を支えてきました。

何よりも安全と信頼が求められる分野での経験を通して、私たちはできるだけ早くリスクを発見し、対応することの大切さを常に考え、そのための技術を磨き続けています。



地中埋設物探査レーダ **グランドシア** **GROUNDSEER**

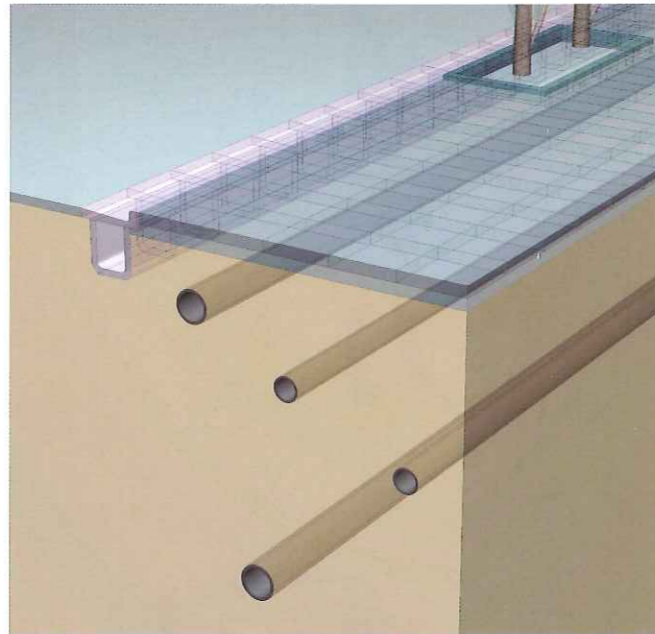
地中レーダは掘削工事による損傷事故を未然に防ぎます。

工事が行われる道路や敷地には多くの場合、地中に配管やケーブルが埋まっています。

「道路工事で、ガス管や水道管に穴をあけてしまった!」

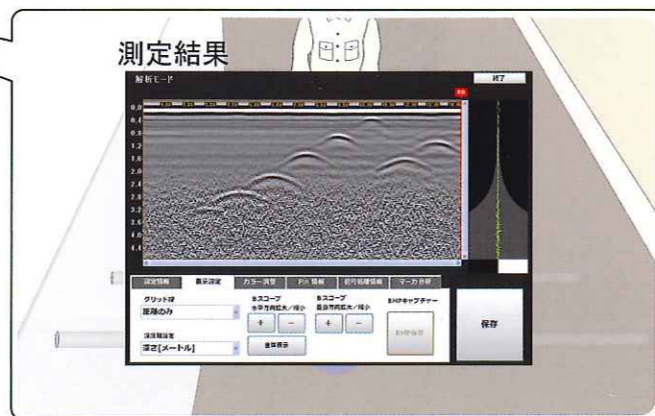
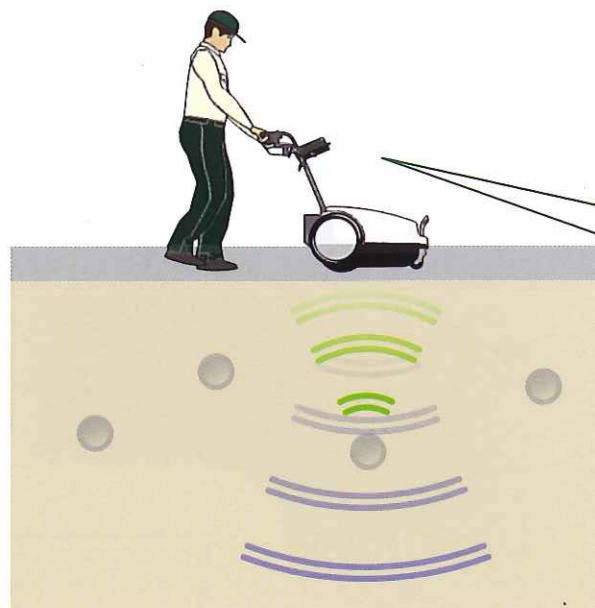
「配管工事で、電線を切断してしまった!」

こうした事故を防ぐために、これまでは主に工事前の試掘が行われてきました。しかし事前確認のための試掘で、誤って埋設管を傷つけてしまうこともあります。地中レーダを使えば地面に穴を掘ることなく、より簡単に埋設管の位置を確認できます。都市部では既存の埋設管が複雑に重なり合い、埋設図面などの資料だけでは正確に地中の様子をつかめないことがあります。こうした場所では特に、地中レーダを使って埋設管を確認しておくことが安心です。



地中レーダは、反射波によって地下の埋設物や空洞、水などを検知します。

地中レーダは、地中に向けて電磁波を放出します。土の中に金属管や樹脂管、空洞や水があると、反射波によって異物や空洞の存在がわかります。さらに、反射波のデータを信号処理することによって、より鮮明に地中の様子がわかる画像を得られます。



掘削工事と探査の流れ

1 事前情報の収集

電気・ガス・上下水道など、現地に埋設されている配管の所有者から図面を入手

2 現地情報の収集

現地のマンホールや排水溝、側溝や街灯などから、埋設管の様子を想定

3 工事設計

収集した情報から埋設管の経路を予測して、工事設計

4 地中レーダによる探査

埋設管の経路が正しいか確認するとともに、図面にはない不明管が存在しないか確認します。

探査する

探査しない

5 試掘・掘削工事

事故を未然に防ぎます

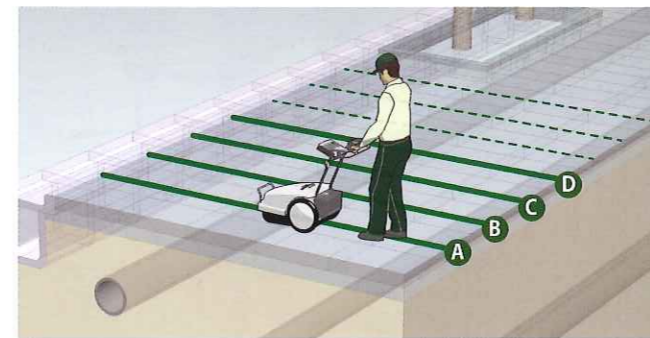
5 試掘・掘削工事

事故発生可能性があります

地中埋設物の探査方法

1 測定線の設定、測定線に沿って測定

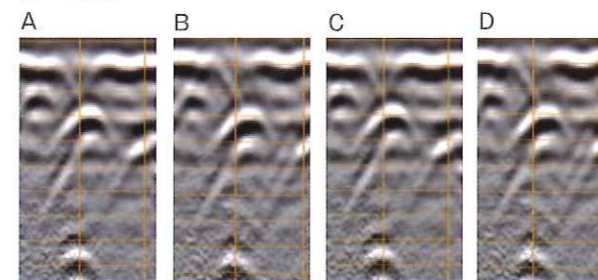
測定線は図中のA~D



2 測定データの読み取り

測定したデータを図面などの事前情報と照合します。

測定結果



3 埋設管の反応があった箇所にマーキング

